

山本 アグリ JOURNAL

2025年4月号



山本商事株式会社

本社：会津若松市インター西 29 番地

〒965-0059 TEL (0242) 24-4561 (代) FAX (0242) 25-0956

営業所：郡山市喜久田町卸一丁目 14 番地1

〒963-8681 TEL (024) 959-6631 (代) FAX (024) 959-6634

No. 3 0 0

1. 今年の気温と新しい害虫

地球温暖化により2024年の世界平均気温は1850年以降で最も高くなり、上昇温度はパリ協定の抑止目標である 1.5℃を超えました。福島県でも年々気温が上昇し、特に昨年のラニーニャ現象の余波により2025年も猛暑傾向にあると予測されています。今年も猛暑による作物の生育・品質への影響が懸念されますが、恒常的な平均気温上昇によりこれまで見られなかった農作物害虫が侵入・定着し、被害を出し始めています。

《ハスモンヨトウ》

ヤガ科の害虫。野菜・果樹・花卉全般を幅広く加害する。

若齢幼虫は集団で葉表面を食害するため被害が大きくなりやすい。

- ・ 防虫ネット(4mm以下)で侵入防止
- ・ 若齢期(0～2齢期)での農薬散布(3～6齢期は薬効が劣る)
- ・ 系統の異なる薬剤のローテーション散布を心掛ける
(抵抗性が発達しやすいため)



ハスモンヨトウ 幼虫
(写真: 福岡県病害虫防除所より)

《ツヤアオカメムシ》

- ・ 南方に生息する種とされていたが、分布域が北上している。昨年東北6県に大量飛来。
- ・ 体色は緑色で、モモ・ナシ・リンゴ・カキなど果樹全般を吸汁する。
- ・ 4～5月は越冬世代による被害が起きやすいため要注意。

《イネカメムシ(水稻)》

- ・ 2023年にいわき市で40年ぶりに確認。
- ・ 他種よりも稲穂への依存性が非常に高く、基部斑点米を生じる。
- ・ 従来の大型カメムシ同様に出穂期・乳熟期の2回防除推奨。



イネカメムシ
(写真: 千葉県農業改良普及情報ネットワークより)

平均気温の上昇により1年の世代数が増加し、個体数も増加傾向にあります。
県の発表する注意報や病害虫情報をこまめにチェックしながら、適切な防除を実施しましょう。

2.「ナガエツルノゲイトウ」にご注意！！

ナガエツルノゲイトウは、南米原産のヒユ科植物であり生態系や農業への悪影響を及ぼすおそれがある「**特定外来生物**」に指定されています。1989年に兵庫県で初確認され、2024年現在25都府県に侵入しています。2024年8月に福島県いわき市で初確認されましたが現在のところ他市町村への広がりは確認されていないようです。

《どんな植物？》

「地球上で最悪の侵略性植物」と言われるほど繁殖力が強く、以下の特徴があります。

- ◆再生力：1～2cmの欠片から再生
- ◆拡散力：欠片が水に浮かんで移動(種は作らない)
- ◆侵略性：環境に強く水陸両生、水田・畑地関係なく繁殖

一度繁殖すると駆除が非常に難しく、大群落を形成して作物との競合による**収穫量の減少**、水面をマット状に覆うことで**水路を塞ぎ取水・排水の障害**となり、農業に大きな被害をもたらします。

《どう防除する？》

刈払機やモア—を使用すると、散らばった破片から再生・拡散してしまいます。

畦畔周りの対策として茎葉処理除草剤を使用しましょう。

水田内には①**ピラクロニル** ②**フロルピラウキシフェンベンジル**を有効成分に含む除草剤を組み合わせた体系防除が非常に有効です。

時期	3月	4月	5月	6月	7月	8月	収穫後
水稻栽培	移植 中干し						非選択性葉茎処理剤 ラウンドアップ など
本田	初期剤　： 兆・ピラクロン 1 キロ粒剤　など 初中期一発剤　： 銀河α、フルパワーなど 中後期剤　： ウィードコア、ロイヤント乳剤　など						
水田畦畔	カソロン粒剤 6.7(発生前)　バスタ・ザクサ液剤　ロイヤント乳剤　など						

◎有効成分を含む除草剤として以下のものがオススメです。

- ① 兆(初期剤) ・ **銀河α**(初中期一発・**新規剤!**)
- ② **ウィードコア**(中後期剤) ・ **ロイヤント乳剤**(中後期剤)

早期発見・早期防除が非常に重要です!

怪しいと思ったらすぐに最寄りの市町村窓口・農林事務所にご連絡を!

※「特定外来生物」は外来生物法により栽培・保管・運搬等が禁止されています※

農業関連グループ 野内・小山田